



『2学期スタート!!』

校長 菊池 悟



2学期がスタートして、早1ヵ月が経とうとしています。子どもたちも夏休み明けからの1週間は、学校のリズムを取り戻すのに四苦八苦していたようですが、ようやく軌道に乗ってきた感じです。

本年度の運動会は、熱中症・台風対策も考慮し、また大島地区指定研究公開(犬田布小学校において)が10月23日(水)に実施されることもあり、本年度は11月17日(日)に開催する予定です。だいぶ涼しくなっているかと思いますが、子どもたちの活躍する姿を是非、楽しみにしておいてください。

さて、9月9日(月)新学期早々に、本校にて「オンライン英会話」授業が開始されました。これは、県内でも初の試みであり、伊仙町単独の取組となります。

伊仙町が目指しているものは「英検合格率日本一の町(島)=伊仙町!」でありその一環として、「子どもたちが英語で世界自然遺産の観光案内をする町(島)。観光にきた外国人とのやり取りができなくても、コミュニケーションを取ること



に躊躇(ちゅうちょ)しない児童生徒」の育成も目指すものです。詳しい内容は、裏面に、デジタル奄美新聞に掲載された記事を載せてありますので、どうぞご覧ください。

また、次々に台風襲来の昨今ですが、子どもたちの元気で吹き飛ばしてもらいたいものです。2学期も

様々な行事が控えてますが、何卒ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

連続で接近 9月の台風

9月14日の土曜授業参観、学級PTAは、台風13号接近のため中止となりました。また、翌週18日は台風14号が接近。台風



受賞おめでとうございます

県児童生徒作文コンクール町審査会

- 特選 1年 亀山 稜
「ぼくは、ごみばとたいちょう」
- 特選 2年 川越 天喜
「サマイトサンセどっこい」
- 特選 6年 富士 菜子
「私の保護猫ボランティア」

第60回大島地区読書感想文コンクール

- 特選 1年 川本 絢心
「わたしのごめんね」
- 特選 5年 高城 心彩
「お姉ちゃん」として

※ 家庭教育学級入会申し込み

<https://forms.gle/gca7sqstRnw3wc569>



☆10~11月の主な行事予定☆

10/1	火	身体計測・視力検査(1~3年)
10/2	水	身体計測・視力検査(5・6年)
10/3	木	身体計測・視力検査(4年)
10/7	月	特別支援コーディネーター来校
10/8	火	はこぶっく来校
10/16	水	町小学校陸上記録会(5・6年)
10/18	金	陸上記録会予備日
10/22	火	研究公開会場準備
10/23	水	地区指定「指導法改善」研究公開
10/25	金	犬中文化祭見学(6年)
11/1	金	地域が育む「かごしまの教育」県民週間(~7日)
11/1	金	学校運営協議会(参観・試食会)給食試食会(1年生保護者)
11/6	水	民生児童委員と語ろう会
11/7	木	児童クラブ連絡会
11/12	火	運動会予行 はこぶっく来校
11/13	水	スクールカウンセラー来校
11/14	木	運動会準備
11/17	日	第77回犬田布小学校区秋季大運動会
11/18	月	運動会振替休日
11/20	水	家庭学習強調週間・すこやかチェック週間(~28日)
11/25	月	卒業写真撮影
11/26	火	避難訓練(地震・火災)
11/28	木	グループホームみさき訪問(1・2年)
11/29	金	校区青少年健全育成連絡会 学校運営協議会 九電出前授業

オンライン英会話の授業がスタートしました!

5・6年生は9月から外国語の授業で、オンラインによる英会話レッスンが受けられるようになりました。初回のレッスンを受けた6年生は、緊張しつつも外国の先生との英会話を楽しんでいました。(裏面に新聞記事)



「オンライン英会話」授業開始



【徳之島】伊仙町教育委員会は9日、同町立 犬田布小学校（菊池悟校長）の6年生（7人）の「外国語」授業を皮切りに、海外の講師陣と1対1のマンツーマンで英会話レッスンを受ける「オンライン英会話」をスタート。町内の全8小学校5・6年生、3中学校が対象。県内でも初の取り組みという。

同町教委が掲げる目標指標（KPI）の一つ「英検合格率日本一の町（島）＝伊仙町！」の一環。結果として、「子どもたちが英語で世界自然遺産の観光案内をする町（島）。観光にきた外国人とのやり取りができなくても、コミュニケーションを取ることに躊躇（ちゅうちょ）しない児童生徒」の育成も目指す。

オンライン英会話レッスン（授業）は、フィリピン国の講師陣と児童生徒一人一人が外国語（活動）及び外国語・英語科の授業時、タブレット端末で10分間ずつ、各児童生徒のレベルに合わせてオール英語で細かい発音をチェックする。テキストと講師が個々の一画面に表示して、ヘルプボタンも設けて円滑にサポート。画面には、講師も児童生徒も言葉以外に書き込みでもコミュニケーションが取れる。

初レッスンで犬田布小6年生たちは、ちょっぴり緊張した表情の中にも、講師陣の問いかけに、「Hello Yes I can hear you（こんにちは、はい、聞こえます）」と個々に答えるなどオンライン国際交流を開始。あっという間の10分間だったが、児童たちは感動冷めやらぬ表情だった。

児童の北澤銀治君（6年）は「初めて1対1で外国人と話したが、質問を理解して答えるのが結構難しかった。これから単語と発音をいっぱい覚えて、スムーズに話せるようになりたい。将来の夢はメジャーリーガーです」とにっこり。

菊池校長は「ALT（外国語指導助手）も入ってはいるが、1対全体が現状。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められている。オンライン英会話では毎回、人（講師）も替わる。これから国際社会に入っていくうえでは重要と思う」と感想を語った。

オンライン英会話は専用の予約サイト（教育開発出版㈱）で1年間の一括予約も可能。伊仙町教委は、町内の全小学5年生・6年生（外国語）、中学生（英語科）に順次導入していく。（奄美新聞9/9：デジタル奄美新聞記事抜粋）